

TUNING CAR 2013 G-Tech

真の現代版ピッコロ・モンスター

いまやドイツの新進気鋭のチューニングメーカーとして注目される「G-Tech」だが、「G-Tech」を世界的に有名なブランドに押し上げたチューニングカーがある。それがアバルト500のルーフを100mmチョップした「G-Tech SportSter GT」だ。

文●編集部 写真●横澤謙空
text by ROSSO photos by YOKOZAWA Yasuhiro
取材協力●ウィングオートヨーロッパアンソールーム
TEL: 052-400-5554 <http://www.wingauto.co.jp/>



ヤンチャなエクステリアに、タービンやインタークーラーをアップグレードする224PSパフォーマンスキットを与え、さらには、エキゾーストシステムやブレーキシテム、LSD、車高調整式の専用サスペンションシステムなどを装着し、「G-Tech」流の味付けを施したピッコロ・モンスターに仕上げている。

しかしながら、いかにも手強そうなヤンチャなエクステリアとチューニング内容に緊張しながらこのクルマを走らせると、意外なほど運転しやすいことに気が抜けるかもしれない。チョップドトップ化による剛性低下を補うためになされた補強により引き締められたボディも、ドライブフィールに大いに影響しているのだから、それ以上に、低回転から高いトルクを発生するフラットなエンジン特性にチューニングされていることがイージードライヴの最大の理由だろう。チューニングカーとしてわかりやすくするならば、過激なドッカントーボにセッティングしてやれば話は早い。しかし、そうしなかったところに、「G-Tech」のチューニングに対する姿勢と心意気を感じる。

最後に、誤解が無いよう記しておくこと、「運転しやすい」運転が楽しくない」というわけではない。「スポーツスターGT」は間違いなく速いし、鋭く反応するステアリングや踏み応えてくれるアクセルレスポンス、小気味よくキマるシフトなど、運転も非常に気持ちいい。ドッカントーボの炸裂するような速さはないが、どこから踏んでも応えてくれる柔軟な速さを持つている。各方面から熱い視線が注がれるのも当然だ。**R**



サイドビューからの眺めで、「Sportster GT」のチョップトップ具合が分かる。ピラーから上は100mm車高を下げるためにすべて作り直されているが、その美しいラインはあたかも純正のよう。

ビッグタービン&ローコンピピストン、大容量インタークーラー、チューニングECUなどにより、最高出力は、ノーマル比+90psの224psに。ボディ色に合わせたイエローのヘッドカバーには「G-Tech」のエンブレム。



ホイールは「G-Tech Corsa」マットブラックの17インチ。タイヤは前後とも205/40R17。ブレーキは Brembo の4ポットで前 305φ、後 265φのドリルドロター。



フロントウィンドウ以外のウィンドウは、軽量化も兼ねてすべてアクリル製に交換されている。もちろんチョップトップに合わせて専用デザインされたものとなる。



基本的にノーマルに準じたインテリアだが、上下に短いフロントウィンドウが印象的。メーターパネル、シート位置も下げられており、着座位置も低い。ちなみにリアシートは無く2人乗り。

SPECIFICATIONS

G-Tech Sportster GT

価格	458万円～
0-100km/h	6.5秒
最高速度	232km/h
車体重量	1110kg
エンジン形式	直列4気筒 DOHC ターボ、1368cc
駆動方式	前輪駆動
最高出力	224ps/5200rpm
最大トルク	34.1kgm/3650rpm
馬力荷重比	201.8ps/t
比出力	163.7ps/ℓ
変速機	5速MT
全長	3655mm
全幅	1625mm
全高	1515mm
ホイールベース	2300mm
燃料タンク容量	35ℓ
サスペンション (前)	マクファーソンストラット
(後)	トーションビーム
ブレーキ (前)	ベンチレーテッドディスク
(後)	ディスク
ホイール (前)	17インチ
(後)	17インチ
タイヤ (前)	205/40R17
(後)	205/40R17

チューニング内容

G-Techパフォーマンスキット (224ps)
ロード・カー・ボディ (-100mm)
G-Techエキゾーストシステム (GT550-ST100)
G-Techロング5速ギア
G-Techリミテッド・スリップ・デフレンシャル
G-Techショートストローク・シフター
G-Techサスペンション・システム (Sportster GT 専用)
G-Techホイール "corsa" マットブラック
G-Techブレーキ・システム (305/264 perforated)
G-Tech Sportster GT 専用デカール
Recaro製 G-Techシート
プラスチック製バック・ウィンドウ・パネル
フェルト・インサイド・パネル

ポルシェ・チューナーとして知られる「RUF」でチューニングを学び、後にポルシェのエンジン開発チームのチーフを務め、フェラーリやマセラティのチューニングをする「NOVITEC」の前身となる会社を共同経営した、そんなチューナーのエリート街道を歩んできたヘルムート・ギースル氏が、1998年、満を持して立ち上げたチューニング・ブランドが「G-Tech」だ。そしていま、「G-Tech」に熱い視線が注がれている。熱い視線の先にあるものは、もちろん「G-Tech」のコンプリートカーである。

現在のところ、ギースル氏が「G-Tech」のメインディッシュとしているのは、フィアット/アバルトのクルマたちであり、すでに弊誌でもアバルト500のコンプリートカーである「EVO-Rリミテッド」(コンプリートカー「EVO-R」に特別パーツを装着した日本限定モデル)を紹介している(本誌193号参照)。この「EVO-Rリミテッド」も、チューニングカーとしてのクオリティは非常に高く、注目に値することは間違いないが、それ以上に「G-Tech」をメジャーなチューニング・ブランドに押し上げた1台があるのをご存じだろうか。アバルト500をベースにしたコンプリートカー、「スポーツスターGT」だ。

「スポーツスターGT」は、トップを100mmチョップした、いかにも走りそうなヤンチャなスタイルのコンプリートカー。仕上がりは非常に自然で、まるで500の派生モデルとして用意されているかのようだが、その車高の低さも相まって、ベース車両のアバルト500との区別は二目瞭然。そんな